

CSR トピックス

2018年10月25日

「WFPチャリティーエッセイコンテスト2018」表彰式に参加しました！

昭和産業は、国連 WFP 協会が 10 月 12 日（金）に開催した「WFPチャリティーエッセイコンテスト2018」表彰式に、寄付協賛企業として参加しました。

このコンテストは、エッセイの応募を通じて世界の飢餓に広く関心を集めることと同時に、協賛企業が応募数に応じて実施するマッチング寄付を学校給食の支援に役立てることを目的としています。今年のテーマは「おなか空いた、なに食べよ！」でした。応募総数は過去最多の 19,291 作品、寄付金総額は協賛企業 4 社合わせて 231 万 4,920 円となり、7 万 7,164 人の子どもたちに栄養価の高い給食を届けられることになりました。

表彰式では審査委員長を務める音楽評論家の湯川れい子さんが「家族愛や食にまつわる思い出などバラエティに富んだ素晴らしい作品が集まり、審査員も涙するほどでした」と全体を講評。湯川さんのほか、審査員を務めた三浦豪太さん、ふなっしーさん、本田亮さんらが、各賞の受賞者に賞状と賞品を手渡し、最後に最優秀賞の作品が朗読されると会場は感動の渦に包まれました。

（関連ホームページ URL：<http://www.wfpessay.jp/2018/>）



記念撮影

受賞者（前列）と
審査員、WFP関係者の皆様（後列）

当社からの目録贈呈

左：認定NPO法人 国連WFP協会
事務局長 鈴木邦夫様
右：当社CSR推進部長 仙波美智代



(c)JAWFP